

あなたも西村クリニック便りの記事を書いてみませんか？「こんな楽しいことがあったよ〜」「みんなにも聞いてほしい話があるよ〜」どんなことでもけっこうです♪
お気軽に受付までお持ちになってください(*^▽^*)

私はこの10月に18年ぶりに四万十川ウルトラマラソン大会60キロの部を走ってきました。ただいまマラソンブームで3年越しにやっと当選した念願の大会。主人やチームの仲間が9月の猛暑の丹後ウルトラマラソン100キロチャレンジしたのもあり私なりに9月の暑い中第2京阪30キロ走を数回早朝から走り込みました。

前夜祭は大きな鯉のぼりが舞台を泳ぐ四万十戸十和体育館。地元のスタッフの皆様の手作りのおもてなしメニュー。鮎の塩焼き、アマゴの甘酢南蛮、手長エビの唐揚げ、鯖鮓、卵や煮つけた筍を巻き付けた田舎ずしなど四万十ならではの食材に拘ったご馳走の数々。最後は参加者全員でよさこいを両手に鳴子を持ち体育館を練り歩きテンションはMAX。

翌日四万十町鯉のぼり公園10時スタート。少し朝霧残るも日本最後の清流と言われる四万十川に出ると雲一つ無い快晴。気温もグイグイアップ。お茄子畑を過ぎると四万十川に掛かる数ある中の名物沈下橋（川が増水しても流れてしまわない様に両側欄干がない橋）半家沈下橋横断。エメラルドグリーンの川色を白い水しぶきが太陽の光でキラキラ反射綺麗。18年前と変わらぬ景色感動。20キロ地点のカヌー館、地元の中、高生の方々から沢山の声援と冷たい飲み物。もしかして私も絶好調。でも少し暑いかな？気にしない。四万十川にが見え隠れする河岸を走る事40キロ。あれ？足が急に重くなる。やばい。チョッとオーバーペース？それから長い長い丹後より涼しいし、コースも緩やか、粘れ私、頑張れ私。自分に叱咤激励しながらやっと55キロ。今夜初めて泊まる宿の御主人がチーム4人の名前を大きく手書きで書かれた看板軽トラの上に見つける。最後の力振り絞り感動のゴールへ。

6時間42分。総合19位。年代別3位。タイムは18年前とは比べ物にならない結果でしたが私なりに練習に古傷と闘い、何よりも家族やチームの皆様を支えられて大好きなマラソン大会に参加出来る事に感謝しかありません。

チームの大先輩、喜寿の女性も9時間2分と驚異的な結果を出されました。年齢を言い訳にしない走り。健康第一に市民ランナー引退なし。生涯現役の夢に向かって12月別府マラソン繋いでいきたいです。

私は英語を学びにオーストラリアに行きました。語学学校を選んだメリットとして世界中から英語を学びに来る生徒が沢山いるので第2外国語を学んでいる方は第2外国語の話者と友達になれるチャンスがあるということです。私はスペイン語を専攻しているのでスペイン人の友人ができ、英語を勉強しにいきましたがスペイン語の練習にもなって一石二鳥でした。また韓国人の友達もできたので韓国語の勉強をはじめました。日進月歩ですがいつか流暢に話せるようにがんばりたいです。四か国語話せるようになるのが目標です。

色んな観光地へも行ってきました。ブリスベンの花火大会ではたくさんの屋台や出店が立ち並び日本の夏祭りを彷彿とさせ趣があると同時に少しホームシックにもさせるなんとも不思議な時間を過ごしました。

花のアーチやモニュメントなど細部にまでこだわられておりピンクを基調とした可愛らしい設営でインスタ映え間違いなしと思いました。

バイロンベイという観光地も行きました。美しい景色で灯台ではイルカや鯨についての展示が行われていました。展示を眺めていると警備員の方に「どこから来たの？」と尋ねられ日本から留学しに来た旨を伝えると彼女は流暢な日本語で私も昔日本に住んでいたのと話してくれました。そしてここでは運が良ければ野生のイルカと遭遇することができるので展望台へあがると野生のイルカの群れを見ることができました。

また市場のような雑貨屋さんが立ち並ぶ町もとても美しく魅了されました。またホームステイ先にはプールやコテージがありました。船も所有されています。毎日野鳥3匹が庭にやってきます。餌やりも日課に優雅な毎日でした。ある日ホームステイ先のご主人の帰りが遅くご婦人と心配して待っていたところ交通事故にあってしまったとのことでした。当て逃げだったらしく当て逃げの相手は“カンガルー”だったそうです。思い出いっぱいの留学になりました。